

光と影が人々の表情を演出する。集団肖像画の傑作。



レンブラント「夜警」

画面保護のためのニスが黒ずみ、いつのまにか「夜警」と呼ばれるようになった。本来は昼間の情景で、火縄銃手組合による市民自警団の出発場面が描かれている。レンブラントの集団肖像画の代表作であるが、左上から射し込む光に照らされた自警団の隊長と副隊長以外は、顔や姿が明確にわかるように描かれていないため、隊員たちには不評だったという。1642年、アムステルダム国立美術館。